

2009年3月15日

# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/awa/>  
 発行:安房農林振興センター振興普及部改良普及課・安房農業改良普及事業協議会



夏野菜の植え付け作業実習の様子

安房農林振興センターでは、鴨川市ふるさと回帰支援センターと共催で、「鴨川いきいき帰農者セミナー」を月1回のペースで開いています。これは、鴨川市への定住希望者に、農林業の学習や体験を通して、円滑な移住から就農へのお手伝いをするものです。今年も年11回のセミナーで、毎回20名前後の受講があります。

## 活動紹介

### 鴨川いきいきセミナー開催中！ —定住希望者に広げる鴨川理解の輪—

セミナーでは、農業の基礎知識、野菜作りや果樹のせん定、豆腐作りなどの食品加工等の実習を行っています。このほか、講演や視察を通じた地元の農家や農協、農業機械販売店・定年帰農した先輩農家との交流を行っています。

受講者からは、「自分と同じように定年帰農を考えている人と情報交換できる貴重な機会」、「インターネットで偶然見つけたセミナーだったが鴨川の魅力をいろいろ発見できて楽しい」といった感想が寄せられています。さらに、「受講者同士だけでなく、セミナーで知り合った地元の方々とも交流を深めたい」、「教えるもらったことを自分で実践するだけでなく、習得できたら新しい参加者に伝えたい」、「勤めていた頃の知識や特技を活かして鴨川の活性化のお



ナスの更新せん定作業実習の様子

手伝いをしたい」などの積極的な意見も聞かれました。今後も「鴨川いきいき帰農者セミナー」は、地域と良い関係を築き、農業を取り入れたゆとりのある生活の実現を目指す受講者へのお手伝いを通して、地域が元気になる活動を支援していきます。

(高橋京子)



## ナバナ部会の研究活動

安房地域の主力野菜である食用ナバナは、近年四国など他産地との競争が激しくなっています。そこで安房農林振興センターでは、JA安房野菜部会ナバナ部会と共に、安房産ナバナの市場評価を高め、産地を守るための研究活動を行なっています。

今年度実施している研究活動をご紹介します。

### ○新素材巻紙の導入試験

今までの紙の包装(巻紙)は、切れやすい、ナバナが乾きやすいなどの問題を抱えています。そこで、プラスチック素材の巻紙の試験を、部会役員の方々と連携して2月上旬より行っています。この巻紙は、①紙よりも水分を保持しやすい、②束ねる際の締め込みが効く、という特徴があり、店持ちや束姿の改善が期待されます。



左 新素材の巻紙、右 従来の巻紙

○写真による規格目安の作成  
市場からのクレームが多い「花咲」や、市場で重視される「色の濃さ」「束の形」について、目で見分ける写真による規格目安を作成中で、2月から試験的に導入しています。A品の品質を高め、市場評価を高めるのが狙いです。研究活動の結果については、栽培講習会等で生産者のみなさまにお知らせします。3月の需要期を迎えておりますので、特に品質には注意を払い、良品のナバナを出荷しましょう。  
(鐘ヶ江良彦)

## イチゴリレー 苗生産の取組み

安房地域のイチゴ生産者を中心に組織されている安房いちご苗委託組合は、北海道に親株を送り、苗生産を委託するイチゴリレー苗生産を行っています。

この取り組みは、夏涼しい北海道ではイチゴの重要病害である炭疽病の発生が認められていない事を利用し、炭疽病の回避と育苗労力の省力化を目的として平成12年から行われています。

当地域では、以前は炭疽病に悩まされ、苗の確保に苦労したこともありましたが、リレー苗を導入することで健全な苗を安心して確保できるようになりました。

今年度は9月8、15日にかけて北海道から約51万本の苗が届き、当地域を始め県内各地のイチゴは場に定植されました。その後リレー苗は順調

に生育し、現在は収穫期を迎えています。

千葉県と北海道では、より良い苗生産のために、毎年お互いに現地検討会を行っています。収穫期を迎えたこのほど、北海道からリレー苗生産者がほ場を訪れイチゴの視察と次年度に向けた意見交換が行われました。

振興センターでは、今後もより良い苗生産が出来るよう北海道側との連携を深めてリレー苗生産の支援を行っていきます。  
(海老原克介)



北海道での育苗の様子

## 千倉地域の花摘み園 切り花品質改善

毎年1月から3月にかけて、南房総には一足早い春を求めて全国各地から花摘み観光客が訪れます。

しかし、近年の天候は年により変動が大きく露地で花を栽培するには大変難しい環境になっていきます。

このような中、当センターではより良い品質の花をお客様に提供してもらうため、南房総市千倉町の平磯、千田地域の生産者を対象に今年度から支援を始め、ストックやキセンカのカット方法、畑の土



ストック八重鑑別研修会

壌診断と施肥法、農薬の安全で効率的な使用方法などの研修会を開催してきました。今後も継続して栽培技術の向上支援に取り組んでいきます。

### 観光客に 楽しんでもらうために

現在、南房総の露地花きは順調に開花し、週末は観光客でにぎわっています。

平磯地域で行われている「花畑のライトアップ」は2年目を迎え、花畑の新しい楽しみ方として各方面から認知され始めています。更に8年前から取り組まれている「お花畑オーナー制度」の人気も続いています。1区画の花は全てオーナーのもですが、栽培管理は生産者に全て任せられる事が魅力のようです。お客様を呼び込むには、良品質栽培の他に、新しい楽しみを考え、提供し、飽きさせないことが大切です。

(西廣明香)

## 搾乳機器の管理

「水質に適した洗剤選び」

酪農家の皆さんにとって毎日の作業である搾乳。安全で良質な牛乳を消費者に届けるために、搾乳時の衛生管理はとても重要となりますが、今回は搾乳機器の管理に着目したいと思います。

毎回の搾乳後にはパイプラインミルクの洗浄が行われます。洗浄に井戸水を使用されている方も多いと思います。その水質（pHや硬度）の把握はできていますか？機器洗浄における重要な条件として様々な条件が挙げられますが、最も重要なことは「水質に適した洗剤選び」です。

洗浄不良が起きる例として、水質が原因で洗剤の能力が発揮されず、汚れの蓄積が進行してしまうということがあります。例えば、水質がアルカリ性に傾いている時、酸性洗剤を投入してもpH3以下にな

らず、牛乳中のカルシウムやマグネシウムが落ちずに蓄積してしまふ場合があります（左図上）。水質が酸性の場合も同様に、アルカリ性洗剤の至適pH（11以上）にならず、脂肪分やタンパク質が落ちないことがあります（左図下）。

井戸水の水質は周辺環境に影響を受けて変化します。洗剤の効果を最大限に発揮させるためにも、専門の業者に依頼して定期的な水質検査を行なうことをお勧めします。

(大河原澄香)

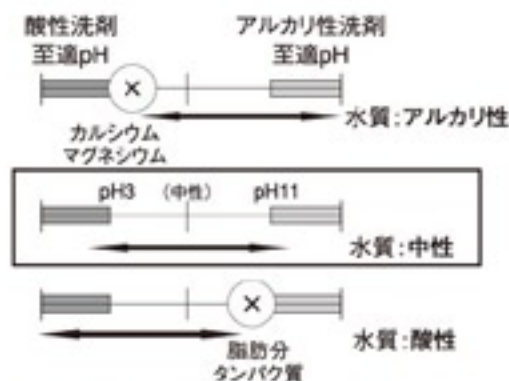


図.洗浄能力は水質(pH)の影響を受ける

### 平成20年度に認証された 指導農業者 の紹介

平成20年11月11日に、千葉県庁において千葉県指導農業者・農業者の認証式典が行なわれました。安房地区からは4名の方が認証されましたので、ご紹介いたします。

本制度は、農業者自らの手による後継者の育成活動と、農業者に対する社会的評価の一層の向上を目的として、千葉県知事が認証します。

指導農業者とは、農業技術・経営管理者能力等において優れており、農業青年の指導に理解と熱意があり、かつ積極的な指導援助活動ができる農業者が認証されます。

農業者とは、農業技術・経営管理者能力等において優れており、農業青年等の集団活動で中心的活動を行っており、今後の活動も期待できる青年農業者が認証されます。

#### 【指導農業者】

川崎裕史氏(南房総市:施設花き及び果樹)

#### 【農業者】

川上昌之氏(鴨川市:施設花き)

金井 隆氏(南房総市:水稲及び施設花き)

川崎峰幸氏(鋸南町:施設花き)

(浅野清一郎・影山浩司)



左から川崎峰幸氏、川崎裕史氏、金井氏、川上氏

### 安房地域

#### いきいきフォーラム

1月30日に南総文化ホールにおいて「平成20年度安房地域いきいきフォーラム」を開催しました。今年は安房地域の3市1町に誕生した「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」6名が企画・運営に大きな役割を果たしました。

「安房の大地からの発信」というテーマのもと、農林漁業に携わる女性の活動を地域の人達に知ってもらおうと呼びかけ、消費者を含め200名近くの人々が集まりました。

幕開けのアグリライフ安房は、紙芝居「おばあちゃんからのおくりもの」で食事パランスの大切さを伝えました。続いて、印旛女性農業経営者の会の林初枝さんの講演、女性漁業士の三橋美子さんや安房初の女性農業委員の川名初江さん、ペンションスズキアグリ鈴木厚子さんからの事

例発表を元にパネルディスカッションを行いました。豊かな地域資源を活用しながらはつらつと活躍する女性達の姿から、明るく楽しい地域社会の実現を目指す意気込みが伝わってきました。

ホール入口では女性起業家の方々が展示販売を発売に行い、安房地域の農海産物や加工品の豊富さを来場者に印象付けました。

アドバイザーと会場皆で「安房地域の豊かな恵みの情報をこれからも発信していく」ことを力強く宣言して幕を閉じました。(川名瑞枝)



アドバイザーによる宣言